



ほぼ週刊 輝けとわに 第264号

2023.1.20

〒247-0005 横浜市栄区桂町84-14 TEL: 892-2155 FAX: 892-9241

横浜市立本郷中学校

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/hongo/>

校長 湊 浩一

【学校教育目標】 自ら学び ひとつつながり しなやかに未来を拓く人

【学校スローガン】 あ（挨拶） せ（清掃） か（感謝） け（けじめ）

そして、日常は ^{よみがえ} 甦る

校長 湊 浩一

14日の土曜日、本校体育館において「第20回ほんごうの森コンサート」を開催することができました。本郷小学校のマーチングバンド（関東大会出場）と本校の吹奏楽部（東関東大会出場）が演奏してくれました。開催できたのは、地域の皆様の力強いご支援、本校PTAの皆様の全面的なご協力、本小マーチングバンド保護者の皆様の献身的なご協力、栄区の財政的なご支援、そしてご来場いただいた皆様方あってのことと、深く感謝しています。ありがとうございました。

さて、前回までは4つの小学校も演奏していたようです。しかし、コロナ禍だけが理由ではありませんが、着任早々、当時の小学校の校長先生方から出演辞退の電話を相次いでいただきました。「森コン」が、どういうものかわかっていないため、「はい」としか答えられませんでした。それでも知恵を出し合って、関わる人たちが無理せずできる方法を模索してきました。ウイズコロナという言葉をよく耳にしますが、心がけていることがあります。それは、なんでもかんでも元に戻すのではなく、コロナ禍で得た知見を活用することです。具体的には、本当に必要なことなのか、縮小したままではいけないのか、コロナ禍でもできるのか等々のフィルターを通すことにしています。例えば、総合的な学習の時間はオンラインでも実施可能なプログラムを考えています。何度も経験した、コロナで中止という事態を回避したいからです。そして、ベストではないかも知れませんが、「森コン」も出来る範囲で出来るだけ無理のない形にと落ち着きました。

コロナ禍が社会の働き方を多様化しました。転んでもただでは起きなかったことが人類繁栄の原動力だとすれば、我々にもコロナ禍を経験したから発揮できるレジリエンスがあるはずです。高校生たちは自らをコロナ世代と呼んでいます。そして、自分たちの最大の弱みは「コミュニケーション・会話が下手」だそうです。次いで「^{インターネット}INT・SNSへの依存やトラブル」を挙げています。逆に強みも「INT・SNS」だそうです。彼らは「弱みを知れば、それが強みになる」ことを知っていました。古い船を動かせるのは、新しい水夫たちです。本中生の皆さん、ポストコロナの時代は皆さんが主役になります。一人ひとりが自分の強みを発揮して、^{いま}現在よりも民主的な社会にしてほしいと願っています。ゴールは、誰もが幸せな社会なのではないでしょうか。

令和5年1月23日～27日の予定表【A】

日 曜	1	2	3	4	昼	5	6	掃	備 考
23 月	道徳	月2	月3	月4	○	月5	月6	軽	完全下校15:15
24 火	火1	火2	火3	火4	○	火5	総合	○	
25 水	す1	す2	す3	す4	○	学活	*	○	^{たばこ} ①煙草と健康 ^{アルコール} ②酒 精と健康
26 木	木1	木2	木3	木4	○	木5	木6	○	③公立共通選抜出願 ↓ 25-27
27 金	金1	金2	金3	金4	○	金5	総B	○	